令和７年５月１４日　ＪＡのと・奥能登農林総合事務所

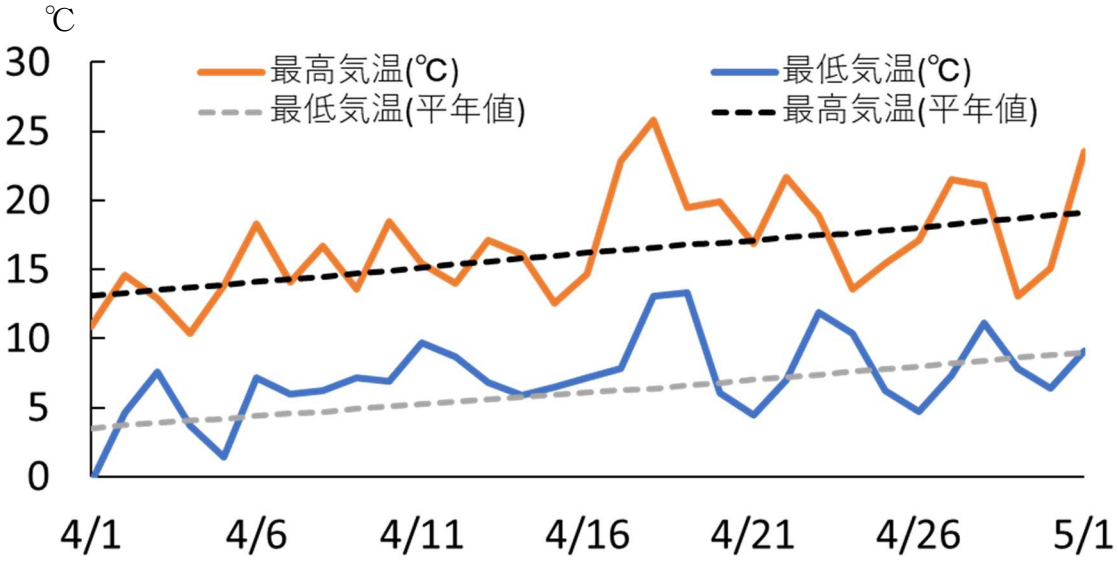
令和７年度　ＪＡのと　かぼちゃ栽培講習会

【生育概況】

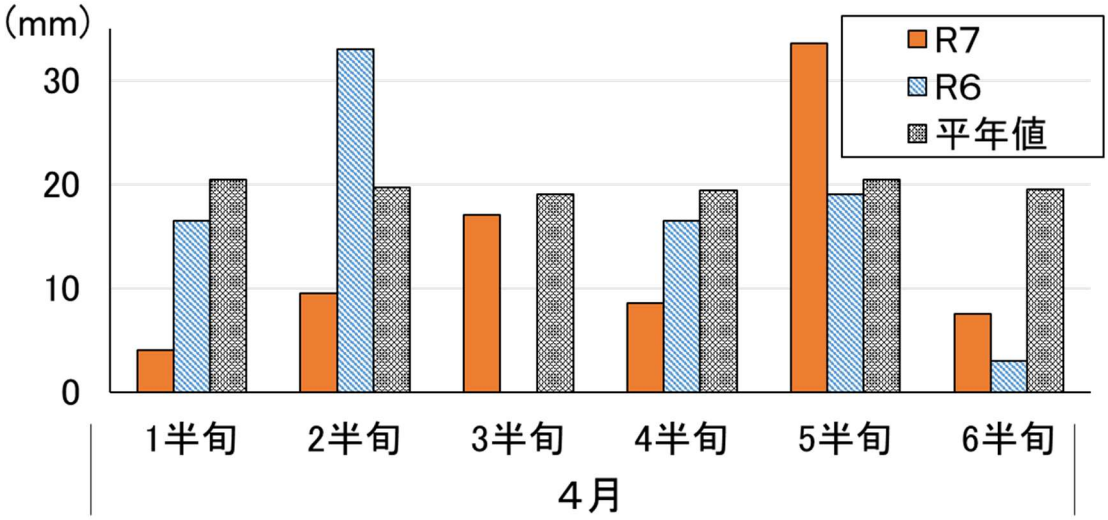
４月20日から30日頃にかけて定植が行われ、その後の活着は順調であった。霜害による葉焼けや枯死等は見られなかったが、地域によっては、強風により定植後の苗の傷みや、被覆資材のめくれが見られた。

強風対策の例（Ｕピンでつるを固定）

【気象データ】



気温の推移（輪島アメダス）



降水量の推移（輪島アメダス）

【向こう１か月の天候の見通し】 北陸地方:新潟地方気象台　5月８日発表（平年比）

気温：高い　　**降水量**：平年並み　**日照時間**：平年並み

時期別の管理

1. 追肥とトンネル除去

（1）追肥（5月上～中旬）

トンネル除去前に1回目の追肥をトンネルの両側1m幅に施用し、浅く中耕する。**作業時期が遅れると、マルチ下から伸長した根を切ってしまうので早めに行う。**

（2）トンネル除去

最低気温が10℃以上に安定してからトンネル除去を行う(輪島：5/7、珠洲：5/12 以降)。

2. トンネル除去後の予防防除 （別紙参照）

（1）褐斑細菌病

株元の葉から発病し、つる先に向かって**葉が次々枯れあがる。降雨により進行していく**ため、Zボルドー※を予防散布し蔓延させないようにする（防除は予防～発生初期の散布が基本）。

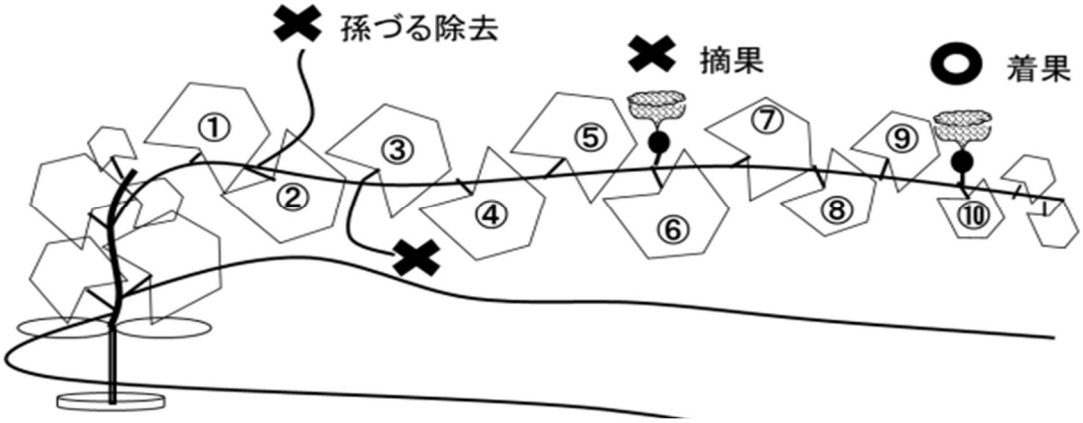
※ Z ボルドーは銅を含むためクレフノンを混用（100～200倍）して薬害を防ぐ。

褐斑細菌病の病斑

（2）うどんこ病

株に負担がかかる**着果期前後から発病することが多く**、草勢が低下すると蔓延しやすい。発生後の防除に限界があるため、多発する前に、予防防除をおこなうことが重要。

3. 交配前の整枝、摘花と摘果

（1）着果節とそれより下の節から発生する孫づるは除去する。また、後から出てきた貧弱な子づるも除去する。

（2）8～9節目より低節位の雌花および幼果は早めに摘み取る。（変形果になりやすいため）